



将来見通し等に関する注意事項

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは本書面の作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。

かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。

当社が事業環境の説明を行う上で、参考となると考える情報を掲載しております。掲載データについては、調査方法や調査時期により結果が異なる可能性があります。

本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。



もくじ

平成29年9月期 第1四半期決算	.3p
会社概要	.12p
よくあるご質問	.17p

平成29年9月期 第1四半期決算

1. 大幅増収を達成しました

- 売上高 2,827百万円（前年同期比 +729百万円 +34.8%）
- 新規開設、在籍園児数の増加、公定価格の改善が主な要因

2. 営業利益は2桁増となりました

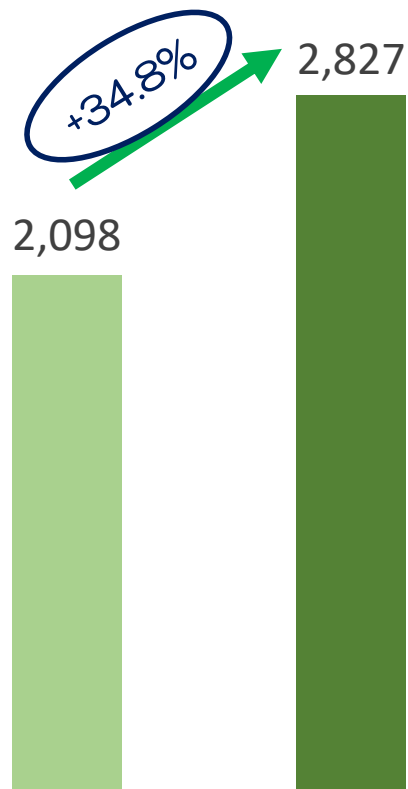
- 営業利益 106百万円（前年同期比 +11百万円 +12.2%）
- 経費(人件費)増加を売上高増加で吸収

3. 高稼働の施設が増加しました

- 高稼働施設数(入所率95%以上) 前1Q末31施設 ⇒ 当1Q末37施設

平成29年9月期 第1四半期業績概要

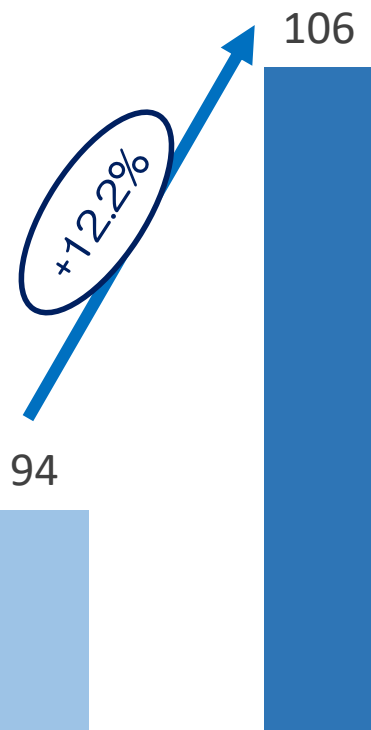
売上高



H28/9期1Q

H29/9期1Q

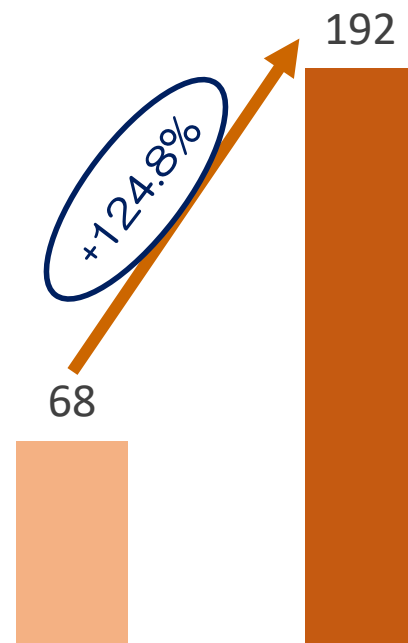
営業利益



H28/9期1Q

H29/9期1Q

経常利益



H28/9期1Q

H29/9期1Q

単位：百万円

第1四半期業績

(単位:百万円)

	平成28年9月期 1Q		平成29年9月期 1Q		
		構成比		構成比	前年比
売上高	2,098	100.0%	2,827	100.0%	34.8%
売上原価	1,694	80.8%	2,338	82.7%	—
売上総利益	403	19.2%	489	17.3%	—
販売費及び一般管理費	308	14.7%	382	13.5%	—
営業利益	94	4.5%	106	3.8%	12.2%
営業外収益	1	—	116	—	—
営業外費用	28	—	30	—	—
経常利益	68	3.3%	192	6.8%	181.8%
当期純利益	59	2.8%	133	4.7%	124.8%

◆ 新規施設の売上高が4.8億円加算されたことや既存施設の売上高が前年同期比2.4億円増加（在籍園児数増加と公定価格改善）したたことで大幅増収となった

◆ キャリアアップ補助金の月次支給（前1Qは3月賞与で一括支給）による人件費増加などで経費が増加したものの、売上高増加により、営業利益は前年同期比12.2%増となった

◆ 11月の新規開設に伴う補助金収入計上で大幅経常増益

貸借対照表

(単位:百万円)

	平成28年 9月期末	平成29年9月期 1Q末	増減額
流動資産	2,588	2,856	268
現預金	1,474	1,601	127
固定資産	9,325	10,168	843
有形固定資産	7,152	7,890	737
資産計	11,914	13,025	1,111
流動負債	2,124	3,248	1,124
固定負債	4,547	4,399	△147
負債計	6,671	7,648	977
純資産	5,242	5,376	134
負債・純資産計	11,914	13,025	1,111
有利子負債	3,704	4,816	1,112
自己資本比率	44.0%	41.3%	—

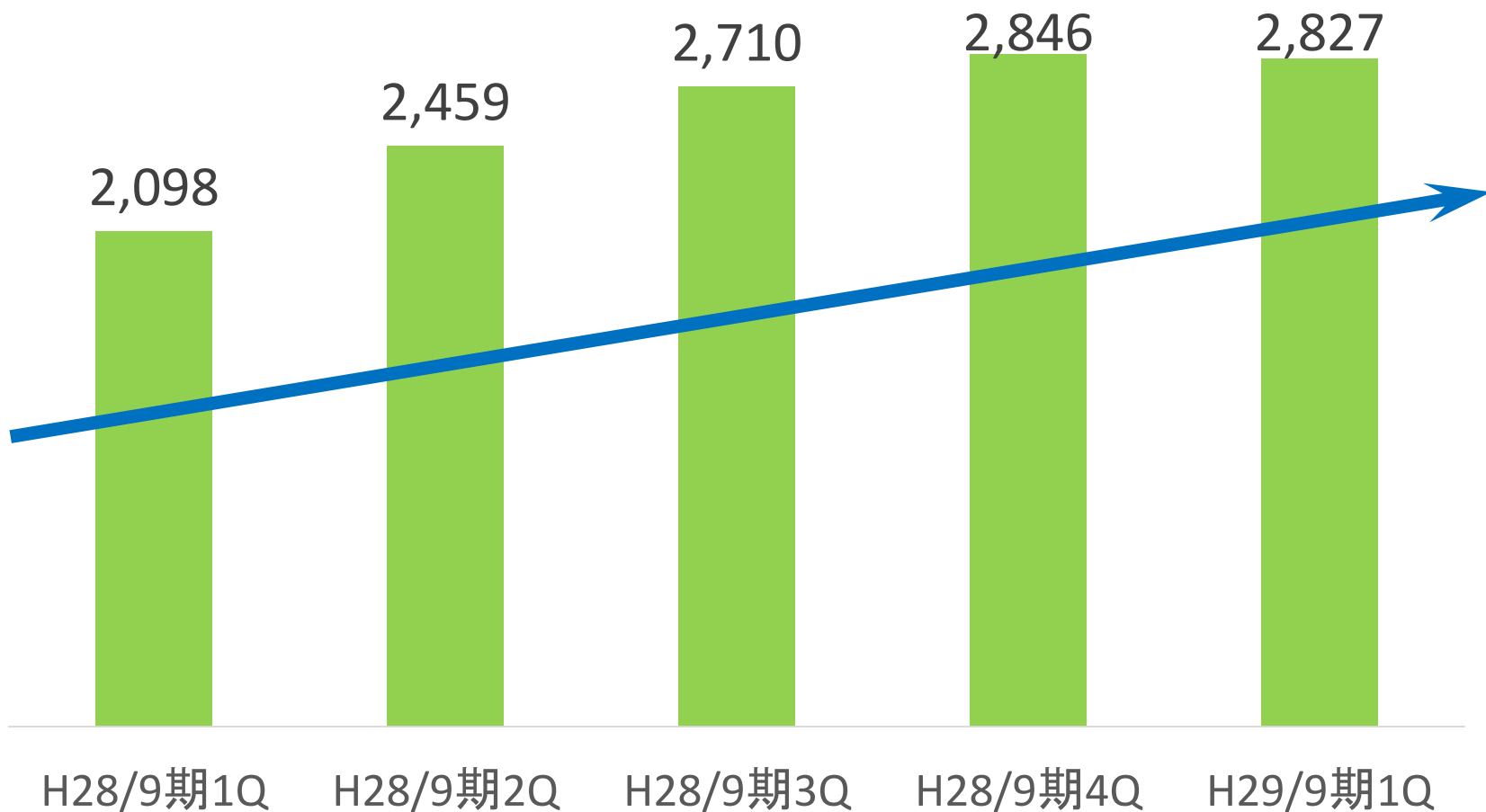
◆ 借入実施により手許現預金は増加
 ◆ 平成29年4月の新規開園準備のため建設仮勘定が増加し、固定資産は8億円の増加

◆ 短期借入により流動負債が増加
 ◆ 長期借入金の一部返済により、固定負債が減少

◆ 新規開園に向けた借入により有利子負債が増加
 ◆ 借入実施により自己資本比率はやや低下

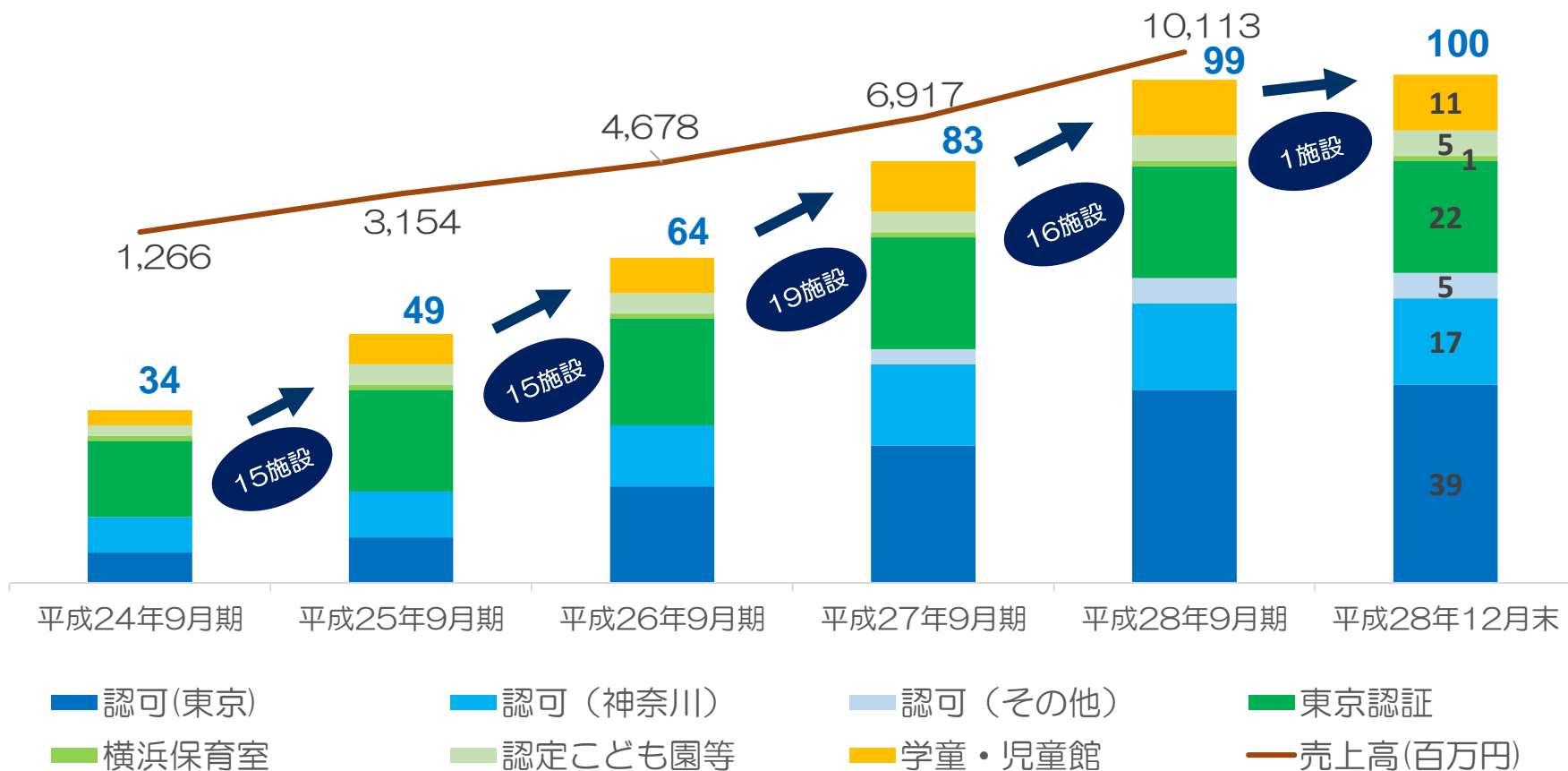
四半期別売上高の推移

- 四半期毎の売上高は順調に増加
- 平成29年9月期1Qは、平成28年9月期4Qに賃料補助やキャリアアップ補助金を計上した反動で前四半期比ほぼ横ばい



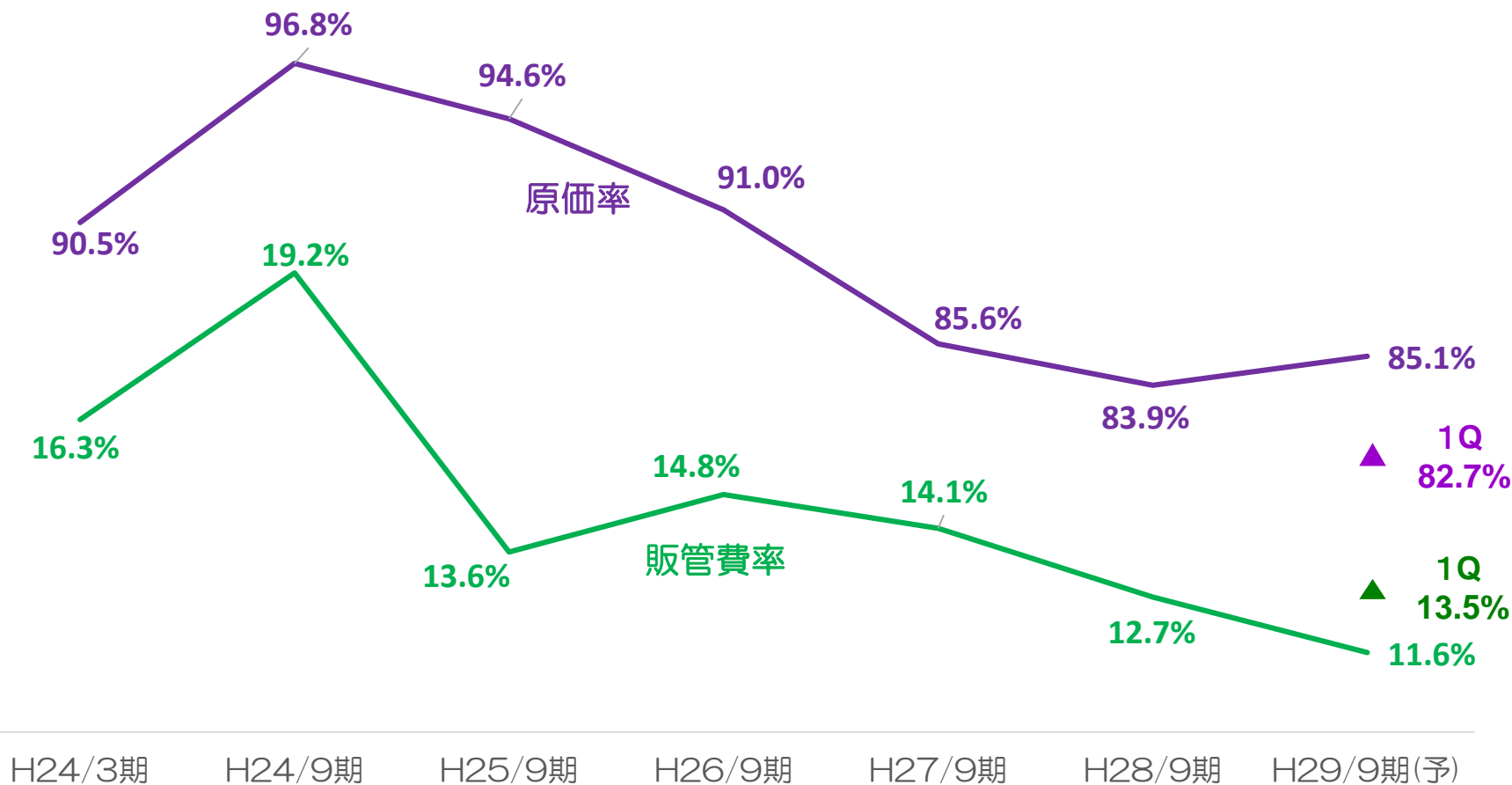
運営施設数の推移

- 平成29年9月期で合計19施設開設予定のうち、1Qでは1施設を新規開設
- 現在合計100施設(平成28年11月1日時点)を運営
- エリア別では、東京都で76施設、神奈川県（横浜市・川崎市）で18施設と2エリア計で全体の94%を占める



注：H27年9月期以前の売上高については(株)グローバルキッズ連結数値となります
認定こども園等には小規模保育を含みます

原価率と販管費率



注：H26/9期とH27/9期は(株)グローバルキッズ連結数値となり、それ以前は(株)グローバルキッズ単体数値となります

TOPICS

□ 東京都平成29年度予算案

待機児童解消対策 ⇒ 1,381億円（前年度比 +41%）

- 保育所等の整備促進（保育所等賃借料補助 など） ⇒ 282億円
- 人材の確保・定着の支援（保育士等キャリアアップ補助：2万1千円/月の処遇改善 など） ⇒ 298億円
- 利用者支援の充実（認可外保育施設の利用者負担軽減 など） ⇒ 801億円

□ 退職一時金制度を導入

- 保育士の処遇改善を目的に、平成29年2月1日より退職給付制度として退職一時金制度を導入

□ コンサル事業等の保育周辺新規事業の立上げが順調に進展

新規開設予定

- 平成29年4月開設予定施設は予定通り進捗（保育所17施設）

会社概要

会社概要

会社名	: 株式会社グローバルグループ
設立	: 2015年10月(H27年10月)
資本金	: 125,000万円
発行済株式総数	: 8,168,560株
決算期	: 9月末
上場取引所	: 東京証券取引所マザーズ
代表	: 代表取締役 中正 雄一
従業員数	: 2,156人(パート含む)
運営施設数	: 100施設
完全子会社	: 株式会社グローバルキッズ 株式会社ろく

事業内容：

保育所の運営を主な事業とする子会社の経営管理およびそれに付帯する業務等

[子会社の事業内容]

- ・ 保育所等の運営
- ・ 学童保育の運営
- ・ 保育所に係る開業コンサルティング 等

平成28年12月末時点



経営指導

(両社とも100%子会社)

GlobalKids

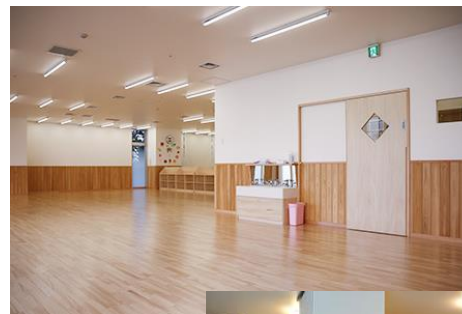
事業内容

- ・ 保育所等の運営
- ・ 学童保育の運営
- ・ 保育所に係る開業コンサルティング
- ・ 上記事業に係る関連事業等



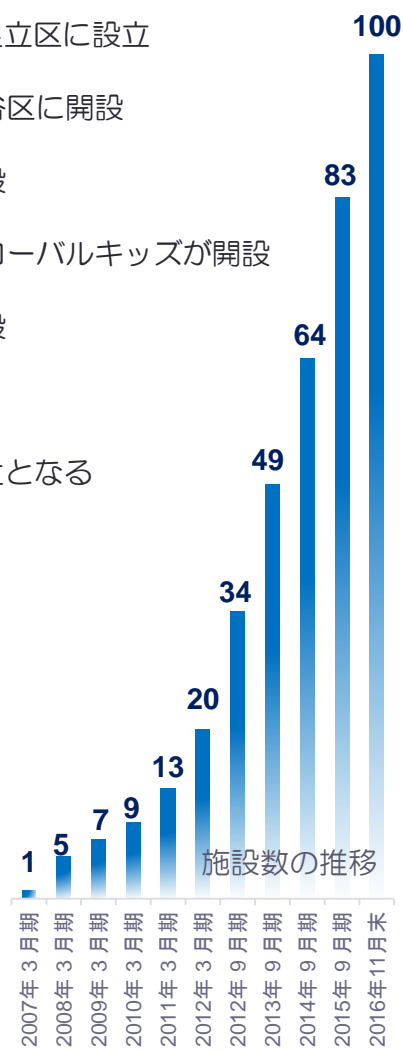
事業内容

- ・ 保育所の運営
- ・ 人材紹介業
- ・ 上記事業に係る関連事業等



沿革

年月	主な変遷
H18年1月	東京都足立区において、東京都認証保育所「六町駅前保育園」（現株式会社ろくが運営）を中正雄一名義で開設
H18年5月	保育所の運営を目的として、株式会社グローバルキッズ（資本金30,000千円）を東京都足立区に設立
H18年10月	株式会社グローバルキッズとして初めてとなる保育所（東京都認証保育所）を東京都世田谷区に開設
H20年11月	当社グループとして初めての認可保育所を株式会社グローバルキッズが東京都板橋区に開設
H21年4月	神奈川県横浜市緑区に東京以外で初めてとなる保育所（横浜市認可保育所）を株式会社グローバルキッズが開設
H22年4月	当社グループとして初めての学童クラブを株式会社グローバルキッズが東京都板橋区に開設
H24年2月	「六町駅前保育園」を法人化し株式会社ろく（資本金1,000千円）を設立
H24年9月	株式会社ろくが増資（資本金44,000千円）を実施し、株式会社グローバルキッズの子会社となる
H25年4月	株式会社グローバルキッズの本社を東京都足立区から東京都千代田区に移転
H25年7月	株式会社グローバルキッズが埼玉県上尾市に認可外保育園（現小規模保育施設）を開設
H26年4月	当社グループの運営施設数が60施設となる
H27年4月	東京都中央区に当社グループとして初めてとなる児童館を開設 大阪府大阪市浪速区に大阪市認可保育所を株式会社グローバルキッズが開設 当社グループの運営施設数が83施設となる
H27年10月	共同株式移転により、株式会社グローバルグループ（資本金100,000千円）を設立し、株式会社グローバルキッズと株式会社ろくを完全子会社化
H28年3月	東京証券取引所マザーズ市場に上場
H28年11月	当社グループの運営施設数が100施設となる



“子ども達の未来のために”

～豊かな心を持った輝いた大人を魅せる～

保育方針1

- 子どもの安全と安心を基本として、自ら伸びる力を大切にし、成長と個性に応じた多様性のある保育をする。

保育方針2

- 子どもの目線で、豊かな愛情をもって、一人ひとりの気持ちをしっかりと受け止め、その主体的な活動を育む。

保育方針3

- 子どもを中心に据え、家庭や地域との信頼関係を築き、環境を通して、人や物との係りを大切にする。

多様な保育環境

- 『子ども』中心という理念を軸に、多様な保育環境を提供
- 多数の園を運営するため、希望に応じて多様な保育を経験することが可能

学べる環境作り

- 保育の実践に加え、海外研修、社内研修等により保育士として成長する環境作りを整備

学びへ

一斉保育

担当制保育

子ども達の
未来のために

海外の保育
(ハンガリー保育等)

海外から
定期巡回
指導

実践へ

海外研修

- 毎年6回程度、各約10名前後でフィンランド、ハンガリー、イタリアなど伝統的な保育を実践する都市へ研修視察を実施



キャリアパスや階層研修など

- 成長に応じたキャリアパスの設定とキャリアに連動した階層別研修、任意参加の実践研修など様々な学ぶ機会を提供



よくあるご質問

Q. 売上の内容は？

- ✓ 当社グループの売上の多くは、自治体より交付を受ける保育施設の運営委託費となります。
- ✓ 認可保育園の運営委託費は、国が定める公定価格に、各自治体が独自予算で加算した金額の合計となります。

[公定価格抜粋]

- ✓ 地域や定員数等により公定価格の水準に差があります。

地域区分	定員区分	年齢区分	標準保育基本単価
20/ 100 (23区)	51人から 60人まで	4歳以上	53,100円
		3歳	60,580円
		1,2歳	116,140円
		乳児	190,990円

地域区分	定員区分	年齢区分	標準保育基本単価
10/ 100 (仙台市 など)	51人から 60人まで	4歳以上	49,840円
		3歳	56,760円
		1,2歳	108,400円
		乳児	177,660円

年齢区分	標準保育基本単価の推移		
	H26年	H27年	H28年
4歳以上	51,110円	52,360円	53,100円
3歳	58,230円	59,720円	60,580円
1,2歳	111,350円	114,420円	116,140円
乳児	182,620円	188,040円	190,990円

地域区分	定員区分	年齢区分	標準保育基本単価
10/ 100 (仙台市 など)	91人から 100人まで	4歳以上	35,170円
		3歳	42,090円
		1,2歳	93,730円
		乳児	162,990円

施設基準：20/100地域(18/100地域 H26年)、51-60名定員

出所：平成28年度公定価格(内閣府)

Q. 営業外の金額が大きい が主な要因は？

(営業外収益について)

- ✓ 新規開設した施設に係る設備投資のうち、内装工事費などの一部に対して、自治体から補助金が交付される場合があります。当社グループでは交付を受けた補助金を営業外収益の補助金収入に計上しております。
- ✓ 補助金額は、例えば、「内装工事費の8分の7」など費用に応じて増減します。また、上限金額が設定されている自治体や交付の無い自治体もあります。

(営業外費用について)

- ✓ 新規開設した施設に係る開設時の費用（施設や保育に係る備品費や保育士等の採用費など）を営業外費用の開設準備費用に計上しております。
- ✓ なお、上記のとおり、営業外の収支については、新規開設した施設数や施設規模（設備投資金額）、開設する自治体、その他の要因などで変動します。

Q. なぜ首都圏でのドミナント戦略なのか？

- ✓ 待機児童が集中している首都圏は、園児が集まりやすい地域です。2016年4月現在の待機児童数は全国で23,533人ですが、東京都ではそのうちの36%の8,466人に上ります。長期的にみても首都圏には人口流入が想定されることから高い保育需要が見込まれます。
- ✓ また、東京都や横浜市は公定価格単価や自治体加算が厚く、他地域の保育所に比べ収支面で安定した経営が可能となります。
- ✓ その他、施設間が近接しているため職員異動なども容易となり、管理が効率的・安定的となりコストの低減が見込みやすくなります。

Q. 新規開設施設が安定期になるのは開設後どのくらい期間がかかるのか？

- ✓ 概ね2、3年を要します。
- ✓ 開設年度、0-2歳児はほぼ定員まで入所しますが、3-5歳児は空きが多く、年々の持ち上がりで2、3歳児が5歳児となるまでに2、3年を要するためです。
- ✓ なお、施設運営費（人件費や家賃など）は開設年度から定員に応じたコストを要するため、安定期になるまでは施設単位で収支が悪い状況が続きます。

Q. 園児はどのようにして募集するのか？

- ✓ 認可保育園や認定こども園などについては、各市区町村がウェブサイト等を通じて所管内施設の募集を行い、利用希望者は市区町村に入園希望施設を申請します。
- ✓ 利用希望者が空き定員を上回る場合は、市区町村が管理する希望者毎の優先順位に応じて、入園の可否や入園施設を決定します。
- ✓ 従って、施設側では、園児の募集や入園者の決定は行いません。
- ✓ なお、東京都認証保育所は、各市区がウェブサイト等を通じて所管内施設の空き情報を提供しますが、入園の申し込みは利用希望者が各園に直接行い、入園者も各施設が決定します。

